

議会だより **なががわ**



栃木県那珂川町

No.47

平成29年5月10日

テーマ (伝えたい故郷の行事)
ふるさと

**篠尾神社屋台曳き廻し
(犬山田下郷)**



主な内容

3月定例会の結果	(2P~7P)
ここが聞きたい! 一般質問(4人)	(8P~11P)
議会・委員会のうごき	(12P~15P)
キラリ☆まちおこし・編集後記	(16P)

平成29年度当初予算

第1回
定例会

一般会計 81億5千万円

前年度比18億3千万円18.3%減、庁舎建設・認定こども園整備が完了
水道事業は簡易水道事業特別会計を統合して7億1千万円

馬頭西小学校を馬頭小学校に統合 賛成多数で

平成29年第1回那珂川町議会定例会は、3月2日に開会し、会期を16日までの15日間と定め、一般質問のほか、条例の制定改廃、平成28年度補正予算、平成29年度当初予算の審査などを行いました。

一般質問は、4人の議員が登壇しました。

今期定例会に付議された事件は、35件が上程され、全ての議案が可決されました。

- ・ 町長提案 35件：人権擁護委員推薦、工場立地法準則条例の制定、馬頭西小学校統合関連2件、その他の改正18件、現年度補正予算5件、新年度当初予算8件
- ・ 議員提案 1件：住民課・生活環境課の新設に伴う委員会条例の改正
- ・ 請願 1件：町立馬頭西小学校統合時期に関する請願

馬頭西小学校が統合へ

馬頭小学校は校舎改修

条例改正

馬頭西小学校を馬頭小学校
に統合 平成30年4月に

◆町立学校の設置に関する条例

(賛成多数 原案可決)

馬頭西小学校を平成30年4月に馬頭小学校に統合することとして、条例の一部を改正するものです。

質問 住民理解が得られていないのに、統合を急ぐ理由は。

答弁 当初計画は平成28年4月統合だった。子供たちにとってより良い環境を早期に整備する必要がある。

質問 統合が決まっていないのに、馬頭小学校大規模改修工事の交付金申請は不当ではないか。

答弁 統合予定として学校施設環境改善交付金を申請した。財源確保のために必要不可欠なものであり、不当な申請ではない。

請願

◆町立馬頭西小学校統合時期に関する請願

・ 請願者

那珂川町立馬頭西小学校

P T A会長 大森 広伸

外、役員5名

・ 紹介議員

大森富夫議員

・ 請願の趣旨

平成30年4月の馬頭小学校への統合について、1年延期の平成31年4月としてほしい。

・ 審査経過

教育民生常任委員会(益子明美委員長)に審査付託

・ 審査日 3月2日、7日

・ 常任委員会審査結果

不採択(賛成少数)

・ 本会議結果 不採択(賛成少数)

※本会議での委員長報告及び付帯意見は、13ページをご覧ください。

質問 統合の一年延期について、教育民生常任委員会での考えは。

答弁 (委員長) 請願人、関係課長、紹介議員の大森議員に出席いただき、それぞれの意見を伺った。

教育環境の平準化、均衡を第一優

[モニターより] 紙面構成は1ページ完結または見開き完結だと、見やすく読みやすい。

先と考えた。

質問 5人の委員の採決結果は。

答弁 (委員長) 賛成1、反対3だった。(委員長は採決に加わらない)

質問 請願不採択とした常任委員会は教育委員会に迎合することになるのではないか。

答弁 (委員長) そのような審査ではない。

質問 一年でも存続させたいという、PTAや地域住民の心情に対しての議論は。

答弁 (委員長) 付帯意見のおおりであり、心情は理解している。



馬頭西小学校

◆馬頭小学校仮設校舎賃貸借契約

(全員賛成 原案可決)

馬頭小学校大規模改修のための仮設校舎の賃貸借について、一般競争入札により大和リース株式会社と賃貸借契約を締結するものです。

29年度当初予算

委員会

◆予算審査特別委員会の設置

(全員賛成 原案可決)

平成29年度当初予算審査のため、議員全員を委員とする予算審査特別委員会を設置し、本会議最終日の16日に審査結果を報告しました。

予算

新庁舎建設完了などで

前年比18・3%減

平成29年度当初予算は、予算審査特別委員会(益子明美委員長)で審議され、本会議では委員長か

ら「全ての会計について可決すべき」と報告され、採決で全ての会計が可決されました。

一般会計は、新庁舎建設や認定子ども園整備などの大型事業が完了したため前年度比18・3%減の81億5千万円、特別会計6会計は53億8千万円、水道事業は簡易水道事業が統合されて51・9%増の7億1千万円となり、一般会計、特別会計及び水道事業の全8会計で前年度比11・7%減の総額142億5千万円となりました。

予算審査特別委員会

原案を可決すべき

7項目の付帯意見を付して

◆予算審査特別委員会の設置

(全員賛成 原案可決)

平成29年度当初予算審議のため、議員全員を委員とする予算審査特別委員会を設置しました。

委員長 益子 明美
副委員長 石田 彬良
委員 議員全員

◆平成29年度予算審査の状況

平成29年度の各会計予算は、予

算審査特別委員会において、各課長等から予算内容の説明を受け、5日間にわたり審査を行いました。

◆開催日(審査日)

3月8日、10日、13日、15日

◆審議結果

平成29年度の一般会計、特別会計6件及び水道事業の各会計予算は、いずれも可決すべき

◆付帯意見

1 予算執行にあたって横断的連携を

効果的な予算執行のため、事務事業の執行にあたっては各関係課の横断的連携を図りたい。

2 生ごみ堆肥化事業の実効ある推進について

ごみ減量化推進施策として、生ごみ堆肥化事業がモデル事業から全町的な事業に拡大され、環境施策の飛躍を遂げようとする中、町民の協力を得るための周知徹底と、堆肥の効果的活用を図るよう、実効ある推進に努められたい。

3 日舎暮らし体験ハウスの有効活用について

日舎暮らし体験ハウス整備事業については、十分な検討を重ね、

【広報委員会より】ご希望に沿うよう編集に努めます。

定住促進につながる有効活用を図りたい。

4 デマンド交通システムの土日運行について

デマンド交通システムの発展的運用のため、4月からの指定乗降場所拡充に加え、以前より要望の多い土日運行の導入についても、事業者との協議に努められたい。

5 中学校エアコン設備の早期設置について

中学校のエアコン設置事業について、気温上昇による生徒への健康配慮と環境改善のため、早急な設置対応を図りたい。

6 ケーブルテレビ事業及び下水道事業の加入促進について

ケーブルテレビ事業及び下水道事業については、新たな補助制度の創設を検討し、加入促進を図りたい。

7 特別会計繰入金について

特別会計については、独立採算性を高めるために、徴収率の向上に努め、一般会計からの繰入金を抑制できるように努められたい。

平成29年度予算総額（一般会計、特別会計、企業会計） 142億5千万円（前年比11.7%減）

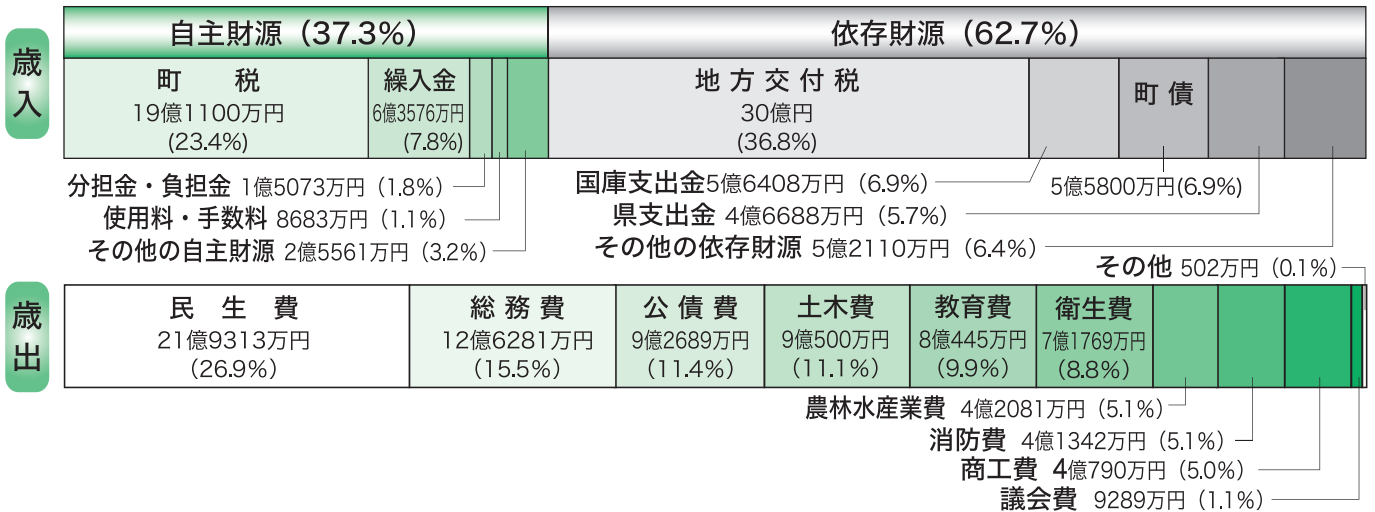
会計名	本年度予算額	対前年度比率
一般会計	81億5000万円	18.3%減
特別会計	ケーブルテレビ事業	4億7500万円 0.6%減
	国民健康保険	25億4000万円 0.8%増
	後期高齢者医療	1億9100万円 5.0%減
	介護保険	18億3000万円 3.4%減
	下水道事業	3億400万円 3.8%減
	農業集落排水事業	4800万円 2.0%減
	簡易下水道事業	下水道事業に統合 皆減
	計	53億8800万円 5.4%減

水道事業予算	収入	支出
収益的収入及び支出	4億3800万円	3億6800万円
資本的収入及び支出	1億9810万円	3億4640万円
計	6億3610万円	7億1440万円

一般会計の歳入財源内訳、性質別歳出内訳

歳入内訳		歳出内訳	
自主財源 37.3%		投資的経費 8.8%	
		消費的経費 62.2%	
依存財源 62.7%		その他の経費 29.0%	

平成29年度一般会計歳入歳出の内訳（総額81億5千万円）



一般会計予算の町民1人当たり目的別予算額（前年度との比較）

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	合計
5,440	73,961	128,449	42,034	24,646	23,890	H29.4.1現在人口 17,074人
(5,584)	(151,733)	(136,450)	(39,295)	(26,697)	(21,737)	
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	予備費	
53,005	24,214	47,115	1	54,287	293	477,335
(50,573)	(26,253)	(60,896)	(1)	(51,761)	(286)	(571,266)

「自主財源」「依存財源」
ってなに？

「自主財源」は、町が自主的に収入できる財源のことです。町税が最も多く、利用負担金や使用料・手数料などがあります。

「依存財源」は、国や県などから交付されたり、借金をする財源のことです。地方交付税や国・県支出金、地方債などです。

【モニターより】46号の議会報告会で、塚田議長の写真は、背広が背景に埋もれてしまった。

会計名	議員名	議員名											
		鈴木 繁	石川 和美	佐藤 信親	益子 輝夫	大森 富夫	大金 市美	岩村 文郎	川上 要一	阿久津武之	石田 彬良	小川 洋一	塚田 秀知
議案第25号	一般会計	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	ケーブルテレビ事業特別会計	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	国民健康保険特別会計	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	後期高齢者医療特別会計	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	介護保険特別会計	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	下水道事業特別会計	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	農業集落排水事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	水道事業会計	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

※益子明美委員長は採決に加わりません。



条例制定

特定工場の緑地面積率

町基準で5%以上に

◆工場立地法準則条例の制定

(全員賛成 原案可決)

工場立地法に規定されている特定工場の緑地や環境施設の敷地面積率を町独自の基準として定めるもので、対象工場は対象区域内の6社です。

・対象区域

愛宕原、新宿平、大平、松野、

明神平の各工業団地

・特定工場

敷地面積9千㎡以上

または建築面積3千㎡以上

・緑地面積率 100分の5以上

・環境施設面積率

100分の10以上

条例改正

◆職員給与条例

(全員賛成 原案可決)

認定こども園開園により必要な職を規定するため、条例の一部を改正するものです。

・職名の改正

保育士及び教諭↓保育教諭

主任保育士及び主任教諭

↓主幹保育教諭

◆税条例

(全員賛成 原案可決)

地方税法等関係法令の改正に伴い、個人住民税、法人町民税及び軽自動車税について所要の改正を行うため、条例の一部を改正するものです。

◆生活支援ホームヘルパー派遣事業の実施に関する条例

(全員賛成 原案可決)

介護保険法の改正に伴い、新しい介護予防、日常生活支援総合事業を実施するため、条例の一部を改正するものです。

◆子ども・子育て会議条例

(全員賛成 原案可決)

認定こども園整備に伴い、会議

の所管を、健康福祉課から子育て支援課に移管するため、条例の一部を改正するものです。

◆子育て支援センター条例

(全員賛成 原案可決)

ひばり認定こども園の開園に伴い、同園に子育て支援センターを併設するため、条例の一部を改正するものです。

子育て支援センターは、既設の「子育て支援センターわかあゆ」(わかあゆ認定こども園併設)に続き、2カ所となります。

◆山村開発センター条例(廃止)

(全員賛成 原案可決)

新庁舎建設に伴い山村開発センターを解体するため、山村開発センター条例を廃止し、併せて、同センター内の馬頭公民館機能を廃止するため、公民館条例の一部を改正するものです。

◆山村開発センターの記録誌を残すべきと思うが。

冊子を発行する計画は無

い。

◆馬頭地区の公民館は、既存施設を利用して設置する考えがあるか。

馬頭地区の公民館は、既存施設を利用して設置する考えがあるか。

答弁 社会教育委員や公民館運営審議委員の意見を聞きながら検討していく。

◆図書館条例

(賛成多数原案可決)

図書館の管理運営について、指定管理者制度を活用できるように、条例の一部を改正するものです。

質問 指定管理者による運営の具体的なメリットは。

答弁 民間活力の導入によるサービスの向上、運営経費が500万円程度削減できると試算している。

質問 地元ボランティア団体の指定管理によって、地域密着型の図書館にする考えはあるか。

答弁 応募しやすいような仕様書としていきたい。

◆体育施設条例

(全員賛成原案可決)

谷田那珂川運動場の河川占用許可が3月31日に満了することに伴い、用途を廃止するため、条例の一部を改正するものです。

補正予算

◆一般会計補正予算

(全員賛成原案可決)

年度末を迎えるにあたり事業の完了あるいは完了見込みによる精査、清算により、総額7000万円

(単位：千円)

平成29年度一般会計及び特別会計の補正予算の内訳

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	11,331,000	△ 70,000	11,261,000
ケーブルテレビ事業特別会計	475,000	△ 1,000	474,000
国民健康保険特別会計	2,554,650	60,000	2,614,650
後期高齢者医療特別会計	201,000	△ 4,000	197,000
介護保険特別会計	1,897,000	△ 43,000	1,854,000

円の減額となりました。

また、馬頭小学校大規模改修工事の経費など10事業9億5247万円が翌年度に繰り越されました。

【主な補正項目】

- ふるさと納税寄付金などの地域振興基金積立に係る経費 1億728万円
- 職員人件費 2424万円
- 地方道路交付金事業(町道76号線等)の確定見込みに係る経費 △8100万円
- 産地パワーアップ事業の確定による経費 △3661万円 など

【主な繰越事業】

- 馬頭小・馬頭東小・小川小施設整備事業に係る経費 5億5880万円
- 産地パワーアップ事業(ライスセンター整備事業)に係る補助 2億6935万円
- 臨時福祉給付金事業費(低所得者への給付金) 5582万円
- 農業基盤整備促進事業(小砂地区農道整備)に係る経費 3695万円 など

質問 地方道路交付金事業費の減額理由は。

答弁 国補助の割り当てが65%程度となった。

質問 町道76号線の進捗見込みを伺う。

答弁 全体2660mで、28年度までで1530mが完了し、残り1130mは30年度完了予定。

◆ケーブルテレビ事業

特別会計補正予算

◆国民健康保険特別会計補正予算

◆後期高齢者医療特別会計補正予算

◆介護保険特別会計補正予算

(いずれも全員賛成原案可決)
年度末を迎えるにあたり事業の完了あるいは完了見込みによる精査、清算により、4会計で総額1200万円を増額しました。

人事

◆人権擁護委員の推薦意見

(全員賛成原案可決)

山口 雅夫 氏 (新任)

藤田悦子氏(大内)が平成29年6月30日に任期満了となることに伴い、山口雅夫氏を法務省に推薦することについて、議会の意見を求められたことから、異議なく賛同しました。

【モニターより】 議会報告会での県営馬頭処分場について、「絶対に絶対に放射能を入れなくてほしい」と議員の皆さんに切望した町民意見があったのに、掲載がない。

第1回定例会(3月6日及び16日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容			議員名											
			鈴木 繁	石川 和美	佐藤 信親	益子 輝夫	大森 富夫	益子 明美	大金 市美	岩村 文郎	川上 要一	阿久津 武之	石田 彬良	小川 洋一
議案第1号	人権擁護委員の推薦意見について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	那珂川町工場立地法準則条例の制定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	那珂川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	那珂川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	那珂川町職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	那珂川町技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	那珂川町職員定数条例及び那珂川町証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	那珂川町職員の給与に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	那珂川町個人情報保護条例及び那珂川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	那珂川町税条例等の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	那珂川町生活支援ホームヘルパー派遣事業の実施に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	那珂川町子ども・子育て会議条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	那珂川町放課後児童クラブ条例及び那珂川町放課後児童クラブの実施に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	那珂川町子育て支援センター条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	那珂川町公民館条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	那珂川町図書館条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	那珂川町体育施設条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	那珂川町山村開発センター条例の廃止について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	平成28年度那珂川町一般会計補正予算(第5号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成28年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成28年度那珂川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成28年度那珂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成28年度那珂川町介護保険特別会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	南那須地区広域行政事務組合規約の変更について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成29年度那珂川町一般会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成29年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成29年度那珂川町国民健康保険特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成29年度那珂川町後期高齢者医療特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	平成29年度那珂川町介護保険特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成29年度那珂川町下水道事業特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	平成29年度那珂川町農業集落排水事業特別会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	平成29年度那珂川町水道事業会計予算の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
発委第1号	那珂川町議会委員会条例の一部改正について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	町立馬頭西小学校統合時期に関する請願について	委員長提出	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
議案第33号	那珂川町国民健康保険税条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	那珂川町立学校の設置に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
議案第35号	馬頭小学校仮設校舎賃貸借契約の締結について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※塚田秀知議長は採決に加わりません。

【広報委員会より】総括した意見として掲載しましたので、ご了承ください。

一般質問！ 鈴木 繁議員

- Q 小中学校のいじめ防止について
- Q 高齢者の交通安全対策について

いじめ防止に対する積極的な取り組みを

(教育長) 家庭や地域と連携を図り全力で取り組んでいく



鈴木 繁議員

質問 いじめを受けた側への対応、いじめを行った側への指導方法を伺う。

答弁 被害児童・生徒を守り抜くとともに、加害児童・生徒に対して毅然とした態度で指導することが重要である。

質問 いじめが発生した場合に、教育委員会が教員に対する指導内容を伺う。

答弁 各種機関との連携を図りながら個別ケースに応じて会議を開催し、解決に向けて助言及び指導を行っている。

質問 いじめの早期発見に向けた対策を伺う。

答弁 いじめの発生しやすい時間や場所を教職員は十分認識し、心のアンケートを定期的に実施して実態把握に努めている。

質問 児童生徒からのいじめに対する相談体制を伺う。

答弁 保護者が希望する教職員等

が対応するなどのいじめを相談しやすい体制を整え、全教職員やスクールカウンセラーのほか、スクールソーシャルワーカーを配置して、幅広い相談体制の充実に努めている。

質問 いじめを未然に防ぐための対策を伺う。

答弁 いじめ関連題材を年間計画に位置付けし、道徳教育や体験学習の充実を図るなどいじめゼロ運動の活動により、いじめ禁止を直接指導している。

質問 SNSを通じたネットいじめの防止対策、教育指導の内容を伺う。

答弁 関係団体の代表者による「携帯スマホ等利用対策委員会」で、学校、家庭、地域が一体となつて携帯・スマホの利用ルールを定めており、各家庭に配布している。

質問 いじめ防止に対して、教育長の考えを伺う。

答弁 幼児期から他人を思いやり、自分も他人も大切にし、正しい善悪の判断ができる心を育てることが大切であり、子供が安心して

きる人、場所があり、子供の心に寄り添うことが大切である。学校、家庭、地域の連携を図りながら課題を共有し、夢と希望に輝く子供の育成に全力で取り組んでいく。

高齢者の交通安全対策

質問 高齢者に対する交通安全防止についての取り組みを伺う。

答弁 高齢者本人だけでなく周囲の理解も重要で、春秋の交通安全県民総ぐるみ運動でのチラシの全戸配布やのぼり旗の掲出、広報車による啓発広報、街頭啓発活動などを行っている。

高齢者に対しては、老人クラブを対象に交通安全教室を開催している。

質問 老人クラブに加入していない高齢者に対しての取り組みや広報活動を伺う。

答弁 チラシの配布やケーブルテレビによる啓発活動を行いながら、交通安全指導員や警察署と協力して出前講座を開催していき

小中学校のいじめ防止

質問 小・中学校でのいじめの現状を伺う。

答弁 昨年9月末の調査で、小学校7件、中学校15件だった。

質問 継続しているいじめはあるのか。

答弁 全て解決したとは言いが切れず、全教職員で対応している。

質問 要因を分析し、把握できているのか。

答弁 小・中学校ともに冷やかしかからかい、悪口や脅し文句が一番多い。

【広報モニターより】一般質問の端の帯部分が内容とかぶっている。その分を写真やイラストに使ったら

任期4年の最終年にあたって予算に対する所信を

(町長) 最終年が特別ならこれまででは手抜きかとなる
最初から誠心誠意で務めている

平成29年度施策事業

質問 地方創生にかみ合った具体的な政策を伺う。

答弁 第2次町総合振興計画での将来像実現のためにまちづくりを推進し、地方創生に向けた戦略事業を着実に取り組んでいく。

質問 地域の特性にあった重点政策を伺う。

答弁 3大重点プロジェクトとして、子育て支援充実に向けた施策、定住化促進を図る施策を推進し、雇用の創出を目指していく。



大森富夫議員

質問 活性化のための新規事業はどのようなものになるか。

答弁 子育て支援住宅整備事業や田舎暮らし体験ハウス整備事業、FM栃木を利用した行政観光情報番組の発信事業など。

質問 人口増に転化するための意識的な施策を伺う。

答弁 子育て支援や定住促進施策に係る新規事業、切れ目のない子育て支援事業、空き家バンクの運営等の定住促進事業など。

質問 農業をはじめとした産業振興策を伺う。

答弁 農林水産業では、地域の特性を生かした農林水産業の確立を目指すため、園芸作物振興対策事業等の農業振興事業、担い手育成総合整備事業等の畜産事業、ホンモロコ養殖補助事業等の水産業振興事業など。

商工業では、地域の資源を生かした新産業の創出と雇用の創出を図るため、地元特産品ブランド化

推進、プレミアム商品券発行、地域雇用創出事業など。

観光業では、交流人口の増加を促進するため、道の駅等の観光拠点施設を中心とした観光、地域情報PR強化など。

学力調査と体力テスト

質問 平成28年度全国学力調査の分析と活用方針を伺う。

答弁 全国調査は、小6は国語・算数は県と比較し同程度、中3は国語は県と比較し同程度で数学は下回った。

同時実施のとちぎつ子調査では、国語・算数とも県と比較し同程度だった。

各学校の先生で組織する学力向上推進委員会で分析・調査を行い、その結果を活用している。

質問 小学校全学年に行われた体力テストの結果と分析を伺う。

答弁 各種目において男女とも概ね全国平均値と同程度または上回っている。

質問 児童の体力向上に向けての今後の取り組みを伺う。

答弁 幼保・小・中連携教育推進会議の健康・体力向上部会での研修会を活用した指導者のスキル

アップや、規則正しい生活習慣を徹底するよう各学校・各家庭での啓発に努める。

質問 発達障害児教育の現状と今後の対応を伺う。

答弁 特別な支援を必要とする子供たちの割合が年々多くなってきたおり、特別支援学級の設置や通級指導教室の開設など、きめ細やかな支援の充実に努めていく。

特別養護老人ホームへの入所

質問 地域密着型特別養護老人ホームの1ユニットが満床になっている状態をどのように捉えているか。

答弁 利用者への見守り強化や、介護職の離職防止のため余裕を持たせた職員体制に配慮するなど、事業者としての経営方針もあるが、施設側からの要望等があれば必要な助言等を行っていく。

質問 介護保険制度改正で要介護1・2の方は入所できなくなるが、入所希望者にどのように対応するか。

答弁 要介護1の方でも止むを得ない理由で自宅の生活が困難な場合は、特例措置がある。

【広報委員会より】本文の見出しを工夫します。

ここが聞きたい

一般質問!

大森富夫議員

Q 平成29年度予算編成について

Q 学校教育問題について

Q 特別養護老人ホームへの入所について

一般質問！ 益子明美議員

支援団員制度の創設で消防団の活動充実を

(町長) 消防団OB組織体制の中で充実を図る



益子明美議員

- Q 消防団員の確保について
- Q 馬頭高校存続に向けての町の考え方について
- Q 精神障がい者の医療費助成と移動支援について

馬頭高校存続の町の考え方は

質問 平成29年度に県教育委員会は県立高校再編計画を策定予定であり、馬頭高校の存続が危惧されている。この現状をどのように考えているか。

答弁 県に対し、様々な機会を通して馬頭高校の存続を要望している。学官連携事業では町の地域活性化に対して重要な役割を担っており、学校と連携を密にするとともに、存続に向けても努めていく。

質問 大子町では、大子清流高校の存続のための支援策として給食事業を行っている。那珂川町でも馬頭高校存続のための一助として実施できないか。

答弁 県内では、市町立学校給食センターが高校に対して給食を実施している事例はない。今後、県教育委員会や学校側の意向、生徒の希望や財政面を含めて有効な支援策を研究していきたい。

※県教委は、馬頭高校を3学級特例校とする計画案を発表しました。(3月16日)

精神障がい者の医療費助成と移動支援

質問 精神障がい者への医療費助成を、精神科だけでなく全診療科を対象にすべきではないか。

答弁 現行の自立支援制度で医療費軽減があり、現状のまま実施していきたい。

質問 移動手段としてのタクシー券助成事業は、精神障がい者は対象とされていない。障害者基本法に則り、精神障がい者も対象とすべきではないか。

答弁 他市町を調査し、町社会福祉協議会と協議を行いながら、町自立支援協議会で議論していきたい。

質問 精神障がい者にもスロープ付き福祉車両を運転手付きで貸し出すことができないか。

答弁 道路運送法による福祉有償運送の登録が必要であることから、登録事業所の増を図り、サービス利用につなげていきたい。

質問 貸出実績の増加で利用できない状況もあることから、車両購入に町も助成できないか。

答弁 民間財団による助成事業などの情報提供をしていく。

消防団員の確保と活動充実策

質問 人口減少とともに消防団の団員数も減少しているが、入団を困難にしている理由は。

答弁 人口減少や就業形態の変化、生活の多様化により、団員候補となる若者やその家族の了承を得られない等が原因となっている。

質問 団員確保のための新たな対策は考えているか。

答弁 来年以降の春の火災予防運動の広報活動で、団員募集を含めた活動を行うよう要請したい。

町内事業所等にも、消防団活動に理解が得られるよう町からも働きかけをしたい。

質問 機能別消防団として、OB等との力を借り円滑な消防活動が展開できるように支援団員制度の創設等を考えられないか。

答弁 支援団員制度は、退団した方で主に日中の出勤に際して団員の出勤をカバーするものである。当町では消防団OB会が設置されており、消防、団員の支援活動を担っており、実績を踏まえて、現行OB会組織体制の中で活動しやすい体制づくりをしていきたい。

質問 OBとしての帽子等の制作や、出勤協力等の報奨制度の創設を新たに考えるべきではないか。

答弁 OB消防団員が消火活動に協力していることが外見から分かるものを考えていきたい。また、当町にふさわしい報奨制度を研究していきたい。

馬頭処分場のPFI事業を町民へどう説明するのか

(町長)「グリーンライフながわ」や栃木県HPで説明している

馬頭処分場のPFI事業

質問 PFI事業での建設変更について、県から町にいつ、どのような説明があったのか。

答弁 6月、9月の定例会でも答えたとおり。

平成27年2月9日、環境影響評価書の住民説明会の知事挨拶で、処分場の整備、運営手法の1つとしてPFI導入を検討する旨の説明があった。

その後、県から事業手法の説明があり、私(町長)からは、事業の最終責任者は県であることか



益子輝夫議員

ら、現地に県職員配置を要望する

とともに、事業手法は県が決めることであり了解する旨を伝えた。

質問 PFI事業での建設について、議会、町民への説明は。

答弁 PFIによる整備運営について、県が平成28年10月14日に発行した「グリーンライフながわ第40号」で知らせており、栃木県ホームページでも検討から導入決定までの経過が掲載されている。

質問 現場は町内であり、町として町民に説明しないのか。

答弁 事業内容は県の専決事項であり、町としては、安心、安全な処分場のため、基本協定、保全協定を結び、民間事業者においても町の意向も汲んでもらえるものと考えている。

県の事業であり、町が説明する必要はないと考える。

質問 PFI事業での産廃処分場建設は全国的に初めてだと思いが。

答弁 稚内市の最終処分場はPFI事業で実施されている。

質問 担当課で、同規模で同じ形の鹿兒島の処分場を視察した目的は。

答弁 熊本南関町の最終処分場であり、PFI事業に関してではなく、保全協定に関する調査である。

県北木協に関する三者協定

質問 県北木協に関する三者協定について伺う。

答弁 工場事業活動による公害の発生を未然に防止し、自然環境の保全及び地域住民の生活環境を確保することを目的に、地区行政区長を立会人として、県北木材協同組合、(株)那珂川町バイオマスと那珂川町の三者で環境保全協定書を締結した。

質問 協定の公害防止基準書で、資源燃焼後の焼却灰基準3000ベクレル以下の根拠を伺う。

答弁 焼却灰等の国基準値は8000ベクレル以下となっており、事業者との協議により、より安全性を考慮して自主基準値を設定した。

質問 安全の法的な根拠を伺う。

答弁 通常、民間の管理型最終処分場で受け入れる自主基準が4000ベクレルで、より安全性を考慮して1000ベクレル落と

した。

質問 測定は業者が行うのか、役場が行うのか。

答弁 事業者が検査機関に委託している。

国道461号の危険箇所

質問 国道461号の馬坂の元こんにやく工場付近、大山田下郷のかやのき下と今中の交差点、大山田上郷の大田原市との境界付近と小野平が、カーブや狭かったりして危険だ。

県に要請している具体的な要望内容を伺う。

答弁 町内区間は全体的に屈曲し、幅員も狭いことは十分認識しており、機会あるごとに早期に改良できるように要望している。

関係市町で構成する国道461号整備促進期成同盟会においても整備を要望している。

質問 住民の命、安心、安全第一のため実効ある要望をしてもらいたい。

答弁 県土木事務所でも、限られた予算の中で優先順位を決めながら、461号についても途切れることなく取り組んでおり、しっかりと要望活動をしていきたい。

【広報委員会より】 伝えにくくなってしまい、申し訳ありません。

南三陸町は東日本大震災で役場庁舎が津波にのまれ、現在、震災遺構として「防災庁舎」と称しています。当時の津波の際、20代女性職員が防災無線で非難を呼びかけ、最後には津波の犠牲者となってしまいました。

ここが聞きたい

一般質問!

益子輝夫議員

Q 馬頭処分場建設について

Q 県北木協に関する三者協定について

Q 国道461号の危険箇所について

《常任委員会の経過》

議会報告会の成果から 意見要望書を提出

議会報告会や団体との意見交換会、行政視察の成果として、各常任委員会からの意見要望をまとめ、議長から町長に、次の内容で意見要望書を提出しました。

◎総務企画常任委員会

- (1) 就業就職の一方で地域の安心安全のためにボランティア精神



消防通常点検より (H28.10.30)

で活動する消防団員の尽力に報いるため、報酬、出勤費、物資支給などの待遇改善を検討されたい。

◎教育民生常任委員会

- (1) ごみの分別・収集について、ごみ収集カレンダーの改善を検討するとともに、分別方法をわかりやすく周知されたい。
- (2) 産業廃棄物県営最終処分場の環境保全協定については、議会と十分に協議されたい。
- (3) 発達障害児に対する支援措置として、自閉症などの発達障害

改善されたごみ収集カレンダー



ほんもろことは…

栃木県那珂川町にある馬頭高校。この高校は内陸県にはめずらしい水産科があるのです。平成22年、高校生の手により、ほんもろこという淡水魚のふ化が成功しました。コイ科の小鱼(体長約10cm)。味が淡泊で肉質が良く、骨が柔らかいのが特徴です。素揚げや唐揚げで丸ごとどうぞ。

ホンモロコのチラシの一部

- (4) 青少年に関する諸問題とその対処について、青少年育成協会を基軸として関係機関及び団体間の連携を強化されたい。

◎産業建設常任委員会

- (1) ホンモロコのブランド化推進にあたり、冷凍施設設置などの環境整備と規模拡大を図り、販路拡大と安定供給に努められたい。

教育民生常任委員会

開催日 3月2日

内容

馬頭西小学校PTAから提出された「町立馬頭西小学校統合時期に関する請願」の審査と、住民生活課長から「那珂川町国民健康保険「データヘルス計画」の説明を受けました。

請願審査では、紹介議員の大森富夫議員から説明と意見を聞き、教育長と所管課長から教育委員会の考え方や経緯などの説明を受けました。

審査は、次回に請願人からの説明を受けることとしました。

開催日 3月7日

内容

「町立馬頭西小学校統合時期に関する請願」の2回目の審査を行い、馬頭西小学校PTA代表2名から説明を受け、「不採択とすべきもの」と決定しました。

◆審議において

審査においては、保護者の思いを十分に受け止め、委員からは心情的には賛同する意見もありまし

だが、町全体の均衡を踏まえ、教育環境の公共性、公平性の観点から審議しました。

◆本会議で

本会議においては、益子明美教育民生委員長が、次のとおり審査結果を報告するとともに、町に対して請願人の思いを汲んでもらうよう2点の意見を付すこととしました。

《委員長報告》

教育行政としては、全ての児童に、同じ教育環境を提供する責務があり、教育機会の均等、平準化も必要になるものと考ええる。

改修工事による精神的な負担がないとは言えないが、その負担を最小限にとどめなければならぬ。その上で、教育設備の整った小学校で、平等な教育環境の中で、主役である子供達を最優先に考え、その子供達に人間性の成長を学ばせ、そして、子供の目線に立つて、真に子供達が必要とする状況と機会を、1年でも早く提供し、1年でも多く享受してもらうことが必要だと考える。

《付帯意見》

・教育委員会の対応と姿勢について、今後の統合の準備にあたり、教育委員会においては、これまでの保護者の動揺、不安、そして不信任に配慮するために、そして、馬頭小学校保護者の自尊心を尊重し、その思いを汲んでいただくようお願いのものであり、誠心誠意もつた姿勢で対応し、保護者との融和と合意形成を図りながら、円滑な統合となるよう強く望む。

・工事に対する安全確保、安全対策については、馬頭小学校改修工事においては、児童の安全を確保し、工事に対する保護者の不安解消に、万全の対策を期すよう、十分な配慮を願う。



《特別委員会の経過》

議会改革特別委員会

議員定数を13名に

2名減、30年4月の町議選から

開催日 3月24日(第18回)

内容

議員定数について、各委員(全議員)の考えや意見を交えて、討議を行いました。

人口規模と適正な定数の意見や、町民の声や意見、資質向上の問題などの意見が出され、議員定数を削減する方向で合意しました。

開催日 4月21日(第19回)

内容

議員定数について、2回目の協議を行い、慎重に検討、協議した結果、次回選挙(平成30年4月)から2名減して13名とすることで合意しました。

この結果を議長に報告し、議会運営委員会で協議後、本年6月定例会に上程する流れとなります。また、定数減に伴う常任委員会

等の在り方について、今後検討していくこととしました。

《削減すべき理由》

人口減少が今後も見込まれる中、町の人口ビジョンや全国の同規模議会議員定数を踏まえ、人口規模に見合った適正な議員定数とすべき。

現状維持の意見として町民の声をより多く吸い上げるために、また、一人でも多くの町民が議会議員として町政に参画するためにも、現行の15名が適当ではないかとの意見がありました。

《議員定数の変遷》

合併前(平成17年9月現在)	旧馬頭町18名 旧小川町14名
合併時(平成17年10月1日)	32名(在任特例7ヶ月)
平成18年5月1日	18名
平成22年5月1日	15名
平成30年5月1日	13名(予定)

【広報委員会より】知りたい情報だと思いますが、紙面の都合上、掲載できませんでした。

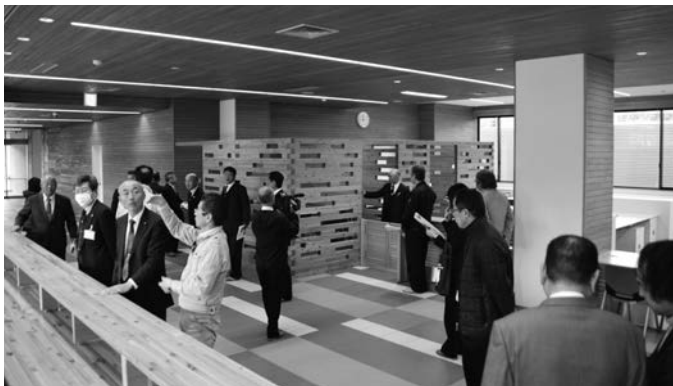
新庁舎を視察

3月16日、3月議会定例会閉会后、町長・副町長とともに、完成した新庁舎を視察し、町担当者や工事関係者から、設備機能や使用部材などの説明を受けました。

■ 庁舎内部は八溝産杉材が使われ、外観からは想像できないほど温かみがあり、町民も利用しやすい庁舎になりました。

■ 山村開発センター解体工事のため、4月から、次の課が新庁舎一階東側フロアで業務を開始しました。

- ・ 建設課 (元本庁舎2階)
- ・ 農工観光課 (元本庁舎2階)
- ・ 農林振興課 (元山村開発センター1階)
- ・ 生活環境課 (元山村開発センター3階)
- ・ 環境総合推進室 (元山村開発センター3階)



視察する議員 (1階西側)



新庁舎の外観を視察する議員

■ 新庁舎での一部業務開始に伴い、3月30日、新庁舎業務開始式が行われました。

入庁課の職員の前で、福島町長、塚田議長があいさつし、福島町長が業務開始を宣言しました。



新庁舎業務開始式であいさつする塚田議長
岩村総務企画常任委員長も出席 (写真右側)

■ 9月に町民向け内覧会が予定されており、10月に新庁舎へ正式移転となります。

《お詫びして訂正いたします》

議会だよりなかがわ第46号の18ページ『新庁舎建設現場を視察』の3段目中、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤「外郭団体の那珂川町農業再生協議会事務局」
正「商工観光課」

なお、「那珂川町農業再生協議会事務局」は、総合体育館内に移動しました。

**庁舎建設の状況は、
町ホームページでご覧になれます。**

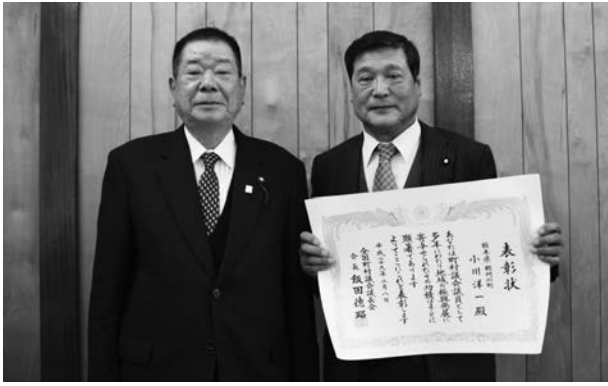
新庁舎建設

<http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp>

【広報モニターより】裏表紙の議会傍聴の案内記事は、もっと大きくして強調してはどうか。

自治功労者表彰

小川洋一議員（4期17年）が、2月8日、全国町村議会協議会議長会から永年勤続の自治功労者表彰を受賞し、3月定例会開会に先立ち、塚田議長から表彰状を伝達されました。



塚田議長と受賞した小川洋一議員

議会の日程&内容

平成29年 2月	10日	議会だより第46号発行	
	22日	全員協議会	
	23日	議会運営委員会	(3月定例会)
3月	2日～16日	平成29年第1回議会定例会	
	2日	教育民生常任委員会	(請願審査①)
	7日	予算審査特別委員会①	
	7日	教育民生常任委員会	(請願審査②)
	8日	予算審査特別委員会②	
	10日	予算審査特別委員会③	
	13日	予算審査特別委員会④	
	14日	予算審査特別委員会⑤	
	15日	予算審査特別委員会⑥	
	16日	新庁舎視察	
	24日	議会改革特別委員会	(第18回)
24日	議会広報特別委員会	(第11回、第47号発行)	
4月	21日	議会広報特別委員会	(第12回、第47号発行)
	21日	議会改革特別委員会	(第19回)
	28日	議会広報特別委員会	(第13回、第47号発行)
5月	10日	議会だより第47号発行	

【広報委員会より】新庁舎になって、足も運びやすくなることを期待しています。

農園民宿 菜花の庄
囲炉裏カフェ心

店主 庄山政男さん
(片平)



なかちゃんが
聞きました。

Q 那珂川町に移住して来たと聞いたけど？

A 東京にいて、テレビで「高手の里」を見て住もうと思ったんだ。この町でならやりたいことができると思うたんだよ。夕陽や星もきれいだし、鳥の声で目覚める理想の場所だね。

Q 移住して来るのに、何が大変だった？

A 空いている農地を借りたかったけど、今ほど制度が充実していなかったから探すのに大変だったよ。

Q 以前は何を？

A 東京から移住して3年になるけど、以前は建設会社に勤めていたんだ。

Q 今の仕事を始めようとしたきっかけは？

A 学生時代からペンションなどに憧れていた、いつかはやりたいと思っていたんだ。6年前の東日本大震災で、会社の状況や生活環境の変化もあって、この仕事をやるうと決めたんだ。

Q ここはどんなお店なの？

A 食事処「囲炉裏カフェ心」は、体にやさしい自然食を提供しているよ。木曜定休で完全予約制にしているけど、予約があれば営業するよ。そして、農園民宿「菜花の庄」で宿泊もできるし、自家菜園「菜花農園」もやっつけて、お米や野菜を作って自然食を提供しているよ。

Q お食事もできて、泊まることもできるんだね。



食事はテーブル席か
囲炉裏席で



自家菜園と中心に地産地消の自然食

A 昨年は、100人くらいが宿泊にいらしたよ。

Q すていね。田畑はどれくらい借りているの？

A 五反歩以上借りていて、農家の認定も受けたよ。

Q 趣味を聞いてもいい？

A 働くことだね。今の仕事は大変だけど楽しいよ。

Q これからの目標を教えてください。

A まずは、この「心」と「菜花の庄」を、小さいながらもしっかりと維持していくことですね。



4月から馬頭高校生が下宿することになった。親子生活みたいになるんだって。手伝ってもらったらお小遣いあげてほしいな。

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。
あなたも一度傍聴してみませんか。

次の定例会は、6月6日 開会
(平成29年第2回議会定例会)の予定です。
議場は、小川庁舎3階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

第1回3月定例会の議会傍聴者数

2日	3日	6日	7日	16日
2人	6人	1人	0人	2人

表紙写真 篠尾神社屋台曳き廻し (大山田下郷)

二輪二重破風の豪華な彫刻屋台2台の曳き廻し。

170年以上続くお祭りだが、豪勢な曳き廻しも人手不足の波には勝てないのが悩みどころ。

町内各地の屋台が一堂に会すれば、豪華絢爛なイベントになるのだが。

編集後記

里山の風景が生命力にあふれ、自然からエネルギーをもらっていると感じられる季節となりました。

町では、この4月から新たに認定こども園が開園し、子育て支援センターと子育て世代包括支援センターが開設されるなど、保育と教育の一体的な支援拡充ができるよう子育て支援策が充実されて来ました。

しかし、子育てを経験した一人の先達として言わせてもらえらるならば、那珂川町での子育ての一番の魅力は、やはり身近にあるこの自然環境です。やわらかな手や足が土をいじり踏みしめることで力を貯め込むことや、季節の移り変わりとともに自然の美しさ厳しさを五感で学べること。そして、自然と共にある地域の伝統行事を知り参加できることは、都会ではなかなか味わえないものです。

議会広報特別委員会

益子 明美